

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321067	保育内容（言葉）（1単位） Child-care Contents(Language)	宮武 里衣			1	必修	1前期
科目の概要							
DP(1)(3)(5)に関連しており、保育の四つの領域の中で「言葉」についての理論を学ぶ科目である。子どもの言葉の発達や、それを促すための子どもの環境構成、保育者の援助などを事例を基に理解する。							
学修内容				到達目標			
① 乳幼児の言葉の発達について過程と理論を学ぶ。 ② 乳幼児の言葉の発達を促す保育者としての支援と環境構成を理解する。 ③ 乳幼児の言葉の発達を促すための児童文化財について基本的な知識を学ぶ。				① 乳幼児の言葉の発達について過程を説明できる。 ② 乳幼児の言葉の発達を促すために、保育者の支援の方法や環境構成を計画できる。 ③ 乳幼児の言葉の発達を促すために、児童文化材の効果的な指導を考えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	読み聞かせの発表に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	子どもの言葉について問題意識をもつことができる。					
チームで働く力	発信力	グループワークで自分の考えを述べることができ、他人の考えを受け入れることができる。					
	傾聴力	周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業の規則を守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
教科書：『指導法もいっしょに学ぶ 保育内容「言葉」』浅井拓久也編著 教育情報出版社 参考書：『保育所保育指針』							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「保育内容（言葉）」は「領域に関する専門的事項」に関する科目で「保育内容（表現）」「保育内容（健康）」「保育内容（人間関係）」「保育内容（環境）」と並び「保育内容（言葉）の指導法」に続く科目である。 資格との関連：保育士資格・幼稚園教諭免許一種							
学修上の助言				受講生とのルール			
知識の習得だけにとどめず、保育現場を意識すること。 必要なことを選別してノートにまとめること。 クラスルームにあがったスライドについては、notebookLMを利用して保存し、小テストの前には復讐すること。				<ul style="list-style-type: none"> 遅刻3回で欠席1回とする。 講義中に指示のない限りスマホやイヤホンの使用は認めない。 グループワークに積極的に参加する。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
			②		
			③	✓	
	平常評価	小テスト	60	①	✓
②				✓	
③					
平常評価	レポート	0	①		
			②	✓	
			③	✓	
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	読み聞かせ発表（レポート含む） 決められた絵本の読み聞かせを披露する。 ①子どもの発達段階を意識している。 ②話の内容に合わせた声の出し方、スピードなどになっている。 ③読み聞かせの基本技術を身に付けている。 ④本の内容を理解している。 獲得30%、活用20%、解決30%
			②		
			③	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	数回提出するワークシートによって評価する。 （主体性）予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力）グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S)</p> <p>①乳幼児の言葉の発達の過程についての理論を十分に理解できている。 ②乳幼児の言葉の発達を促す保育者の援助、環境構成の具体的な方法について十分に理解できている。 ③乳幼児の発達段階に合わせた読み聞かせができる。</p> <p>(A)</p> <p>①乳幼児の言葉の発達の過程についての理論を十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。 ②乳幼児の言葉の発達を促す保育者の援助、環境構成の具体的な方法について十分に理解でき、自分の言葉で計画できるようになる。 ③乳幼児の一つの発達段階に応じた読み聞かせができる。</p>	<p>(B)</p> <p>①乳幼児の言葉の発達の過程についての理論をある程度理解できる。 ②乳幼児の言葉の発達を促す保育者の援助、環境構成の具体的な方法についてある程度理解できる。 ③乳幼児を相手にした読み聞かせができる。</p> <p>(C)</p> <p>①乳幼児の言葉の発達の過程についての理論について多少理解できている。 ②乳幼児の言葉の発達を促す保育者の援助、環境構成の具体的な方法について多少理解できている。 ③読み聞かせを恥ずかしがらずに披露できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育の基本と領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ。 ・「子どもと社会環境」教科書1-1	演習 グループワーク	・授業の目的について理解できる。	(予習) 授業シラバスを事前に読み、疑問点及び質問事項を考へておく。 (復習) 教科書1-1をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	「幼児教育の目的と特色」教科書1-2.3 ・幼児教育の目的と特色を「幼稚園教育綱領」などを参考に理解する。	演習 グループワーク	・幼児教育の目的を一つ言える。	(予習) 教科書1-2.3を読んでおく。 (復習) 教科書1-2.3をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
3	「幼児教育と小学校教育の接続」教科書1-4 ・幼児教育と小学校教育の違いを理解する。	演習 グループワーク	・幼児教育と小学校教育の違いを一つ言える。	(予習) 教科書1-4を読んでおく。 (復習) 教科書1-4をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	「保育者の言葉がけと言葉の発達のための保育者の支援」教科書2-1.2 ・子どもの言語発達を促す保育者の関わり方を学ぶ。 ○小テスト1(教科書P10～28)	演習 グループワーク	・保育者の応答的な関わり具体的に一つ事例を挙げられる。	(予習) 教科書2-1.2を読んでおく。 (復習) 教科書2-1.2をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
5	「保育者の言葉の力を高める場面」教科書2-3 子どもの言語発達に寄り添えるような保育者の具体的な場面での動き方を学ぶ。	演習 グループワーク	・保育者の言語的な関わりを想定できる。	(予習) 教科書2-3を読んでおく。 (復習) 教科書2-3をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
6	「言葉の役割と機能」教科書3-1 ・人としての言葉の機能を理解する。 ○小テスト2(教科書p29～45)	演習 グループワーク	・人の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連の例を一つ挙げられる。	(予習) 教科書3-1を読んでおく。 (復習) 教科書3-1をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
7	「3歳未満児の言葉の発達」教科書第3-2 ・3歳未満児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成を学ぶ。	演習 グループワーク	・3歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連の例を一つ挙げられる。	(予習) 教科書3-2を読んでおく。 (復習) 教科書3-2をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
8	「3歳以上児の言葉の発達」教科書第3-3 ・3歳以上児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク	・4歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連について一つ例を挙げることができる。	(予習) 教科書3-3を読んでおく。 (復習) 教科書3.3をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「言語発達の遅れのある子どもの支援」教科書4-1 ・子どもの言語発達の遅れの内容と支援の在り方を理解する。	演習 グループワーク	・言語発達の遅れの例を一つ挙げられる。	(予習)教科書4-1を読んでおく。 (復習)教科書4-1をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	「外国籍の子どもへの支援と園と家庭との連携」教科書4-2.3	演習 グループワーク	・外国籍の子どもへの支援について一つ例を挙げるができる。	(予習)教科書4-2.3を読んでおく。 (復習)教科書4-2.3をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	「絵本の分類と読み聞かせ①」 読み聞かせの方法を学ぶ。 ○小テスト3(教科書p46~78)	演習 グループワーク	・絵本の種類がわかる。	(予習)好きな絵本を一冊決めておく。 (復習)絵本の読み聞かせ振り返りシートをまとめる。(ワークシート)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
12	「絵本の読み聞かせ②」 読み聞かせ①で学んだ方法でペアで実践する。	演習 グループワーク	・絵本を人前で読める。	(予習)読み聞かせる絵本を選定する。 (復習)家族に読み聞かせる。	120	主体性 実行力 創造力 発信力
13	「絵本の読み聞かせ③」 読み聞かせ①②で学んだ方法で10名以上の前で、発達段階を考えた読む方法を実践する。	演習 グループワーク	・適正な読むスピードと声の大きさを考えることができる。	(予習)絵本を用意する。 (復習)家族に読み聞かせる。	120	主体性 実行力 創造力 発信力
14	「絵本の読み聞かせ④」 読み聞かせ①②③で学んだ方法で全員の前で発表する。	演習 グループワーク・発表	・他グループの発表に敬意を持って向き合うことができる。	(予習)発表内容を完成させ、発表練習をしておく。 (復習)発表グループの内容発表についてノワークシートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力
15	「読み聞かせの効果」についてレポートを作成する。	演習	・レポート課題に対し、自分の力で努力できる。	(予習)発表練習をしておく。 (復習)読み聞かせレポートをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力